

平成19年6月26日

病院における薬剤師の業務及び人員配置のあり方の 項目整理案

I. 実施すべきあるいは実施が望ましい主な業務

<医療・薬物治療の安全確保と質向上のための項目>

- 注射薬の処方せんによる調剤（調査番号26～28）
- 医療の安全確保のための処方鑑査の充実（調査番号29，30）
- がん化学療法への関与（調査番号33～38）
- 患者情報に基づく服薬指導と薬学的ケアの実施（病棟における医薬品関連業務への関与）（調査番号40，44，45，63～72）
- 夜間休日における薬剤師の勤務体制（調査番号46～53）
- 入院患者の持参薬管理（調査番号78）
- 手順書・薬歴に基づく調剤、院内製剤の実施（調査番号31，32）
- 薬物治療の有効性と安全性確保（個別最適化への関与、薬物血中濃度の測定と解析）（調査番号39，91）
- 副作用未然防止等のための高齢者への適正な薬物療法の支援（調査番号80～84）
- チーム医療推進による安全性の確保（院内感染対策及び抗菌薬の適正使用への関与、緩和ケアチームへの参画、褥瘡対策チームへの参画、栄養サポートチーム（NST）への参画）（調査番号85～88）
- 精神科領域薬物療法におけるアドヒアランス（服薬遵守）向上に対する薬剤師の関与（調査番号105～112）

<適正使用のための医薬品管理に関する項目>

- 手術部、I C U等における薬剤師の定期訪問又は常駐による医薬品の適正管理（調査番号58～62）
- 特定生物由来製品管理への関与（調査番号75～77）

<医療の安全確保のための情報に関する項目>

- 医療の安全確保のための他の医療スタッフへの情報提供等（調査番号29, 45, 54, 63～68, 89）
- 医薬品の採用時の情報提供等（調査番号55～57）
- 保険薬局、地域薬剤師会との連携強化（調査番号95）

<その他取り組むべき項目>

- 治験管理業務（臨床試験への関与を含む）（調査番号90）
- 卒前卒後教育研修への関与（調査番号100～102, 104）
- 医療安全確保のための教育研修への積極的な関与（調査番号103）

II. 今後の課題として実施に向けた取り組みが望まれる業務

- 放射性医薬品管理（調査番号93, 94）
- I T機器の導入への関与（調査番号97）

III. あるべき業務を踏まえた人員配置のあり方

- 採用困難性、地域格差（調査番号92, 96）
- 医薬分業の進展（調査番号24）、機械化・I T化（調査番号97, 98）
- 業務の多様化・複雑化
- 病院の規模、機能による多様性
- 現行の人員配置標準の遵守率